

東京女子医科大学看護学会誌の創刊を祝して



東京女子医科大学理事長

吉岡博光

平成10年看護学部が開設され、平成14年に看護学研究科、平成16年には研究科博士課程の開設と看護学会の設立があり看護系高等教育は極めて順調に発展してきている。このたび看護学会誌が発刊されることになり心よりお祝い申し上げます。

さて、大学の学会誌は大学の研究レベルを示す上で極めて重要なものであろう。それでは学会誌にとって必要な条件は何であろうか。それは高い評価が得られるレベルの高い雑誌にすることと、継続性であると思う。そのためには、その裏付けとなる研究が一部特定な人でなく、研究科全体で活発におこなわれることが前提となるのであろう。そのことによって投稿論文が増加し本誌が順調に発展していかれることを期待している。